

第1学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年12月2日(水) 13時30分～ 1年2組 教室

2. 題材「いろいろたべよう」

(キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成)

学級目標

たのしいくらす

るうるをまもるくらす

ともだちをたいせつにするくらす

3. 題材について

男子18名、女子13名、計31名の学級である。全体的に明るく素直な子が多い。後期に入って、子どもたち同士のかかわりも増えてきており、休み時間にもクラスの友だちと一緒に校庭で仲良く活発に過ごしたり、教室で折り紙や絵を描いたりしている姿が見られる。

仲間意識をもってほしいという願いから、入学当初より「クラスみんなで」をキーワードに、日々の清掃活動や学級会などの時には、意識的に声をかけている。そして、学級目標を意識して過ごすことができるように、「ルールを守ろうと頑張っているね。」や「やさしいね。」などの声掛けを行ってきた。すると、廊下を走っている友だちを見かけた時には、子どもたち同士で「このままではルールを守るクラスになれないよ。」と声をかけ合う姿も見受けられるようになった。

また、子どもたちは給食の時間を毎日楽しみにしている。4校時が終わると、「やった！給食だよ。」と言い、準備を素早く進める児童もいる。一方、周りの様子が気になって準備が遅れてしまう児童もいるが、周りの友だちや担任からの声掛けもあって、みんなで協力して準備をすることができている。配膳の時は、均等な量を配ることができるように、担任が確認をしながら進めている。

給食時間の様子として、心を落ち着かせて食べることができるように、静かに食べる指導を入学当初より行っている。午前中の出来事などをふり返りながら、子どもたちは静かに落ち着いて給食を食べることができている。また、食べられる量に個人差が見られるため、食べる前に量を担任に調節してもらうこと、全部食べ終わった子どもはおかわりをして良いという約束にしている。そのため、学級全体の残飯の量は比較的少ない。

だが、一人ひとりの様子を見てみると、時間内に食べきれていなかったり、苦手な食べ物を残してしまったりしている姿も見られる。時間内に食べきれない原因として、少食がゆえに始めに量を減らしていてもすぐに満腹になってしまっていること、時間の見通しをもって食べるのができていないこと、いくつかの食器の食べ物だけを極端に食べていることの三点が考えられる。時間の見通しをもって食べるために、何時に「ごちそうさま」をするのかを書いた紙を黒板に掲示し、「あと〇分でごちそうさまだよ。」と毎日、声をかけるようにしている。また少食の児童においては、始めに量を調節する時に「この量は食べようね。」と担任と約束をするようにしている。そして、いくつかの食器の食べ物だけ極端に食べてしまい、例えばパンが丸ごと残ってしまうような食べ方をしている児童には、机間指導をして声をかけるようにしている。それでも、苦手なものがあると残してしまいがちな児童も少なくない。

そこで、給食には様々な栄養が入った食べ物が入っていることを知り、バランスよく食べることの大切さについて気づき、食への関心を高めてほしいと願って、本題材を設定した。バランスよく食べることで、元気で健康な体になることを分かりやすく子どもたちに伝えるために、まずはじめに赤ちゃんと1年生の子どもの体の大きさを比較して、どうして体が大きく成長したのかを考えさせたい。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
健康によい食事のとり方をし ようとするとともに、マナーを守 って給食の時間を過ごそうとし ている。	健康によい食事のとり方を考 えバランスのとれた食事をする。	給食に出る食品の栄養を知り、 よい食事のとり方を理解すると ともに、マナーよく食べることの よさを理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
朝の会	食事についてのアンケートを 実施する。 ・ 苦手な食べ物どうやって食 べているか。	○自分の食生活の実態が把握できるような問いにする ことで、課題に気付けるようにする。 ☆日頃の食事について振り返りながらアンケートに答 えている。 (集団活動や生活への興味・関心・態度)
12月2日 清掃活動後	給食をどれだけ食べたかのふ り返りをする。 (ワークシート)	○正直に答えられるように、気軽に答えるように声を かける。 ☆その日の給食について振り返り、ワークシートに記 入することができている。 (集団活動や生活への興味・関心・態度)

(2) 本時の活動

① ねらい

- ・元気に成長するためには、色々な種類の食べ物を食べることが大切であると分かり、進んでいろいろ食べてみようと思う食品を決めている。

展開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導入	<p>1. 1年生の体の違いを捉え、体が大きくなった理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんミルクを飲んだから。 ・ご飯をいっぱい食べているから。 ・たくさん寝ているから。 	<p>○人の体が大きく成長するためには、どのような訳があるのかを考えられるように、赤ちゃんとも1年生の児童の体の大きさの違いに着目するようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの体のイラスト ・1年生の体のイラスト
展開	<p>2. 事前アンケートの結果を知る。</p> <p>○苦手な食べ物ベスト3</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ゴーヤ ②レモン ③なす、トマト、ピーマン 	<p>○苦手な食べ物がある人の様子に目を向けられるようにする。</p> <p>☆苦手な食べ物について考えようとしている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>	事前アンケートのまとめ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> いろいろたべて、げんきに せいちょうしよう。 </div>			
	<p>3. 学校栄養職員から、食べ物にはいろいろな力があるという話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○苦手な食べ物を食べずに好きなものだけ食べるとどうなるかを考える。 ○食品には、それぞれに大切な働きがあることを知る。 ○毎日食べる給食は、栄養のバランスを考えて作られていることを知る。 <p>4. 今日の給食を自分がどれだけ食べることが出来たかをふり返り、これから食事をするとき、どのようなことを意識して食べればよいのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの結果 (苦手な食べ物をどうやって食べているか) を知る。 	<p>○いろいろな食品を食べたから、大きく体が成長していることを理解できるように、1年生の体のイラストの裏に様々な食品のイラストを掲示しておく。</p> <p>○苦手な食べ物の食品イラストのみを剥がし、視覚的に好きな食べ物だけでは体が成長しないことを伝える。</p> <p>○分かりやすく伝えるために、今日の給食に使われていた食材を中心に、紹介をする。</p> <p>○毎日食べている給食にも、いろいろな栄養がバランスよく含まれていると気付くことができるように、どんな食べ物が入っているのかを確認する。</p> <p>☆いろいろな食品が使われている理由が分かっている。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>	

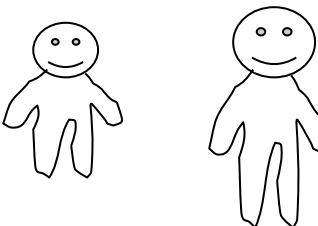
<p>終末</p>	<p>5. いろいろ食べられるようなめあてを考え、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜をがんばって食べる。 ・どのお皿のものも、一口は必ず食べる。 ・減らしたり、残したりしないようにする。 ・これからも、いろいろ食べよう。 	<p>○めあてを考えやすくするために、「板書を見てもよい。」という言葉かけをする。</p> <p>○自分でたてためあてを意識して給食を食べ、毎日チェックをすることを伝える。</p> <p>☆進んで食べてみようと思う食品を決めている。 (集団の一員としての思考・判断・表現)</p>	<p>・ワークシート</p>
-----------	--	--	----------------

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
<p>給食時間 12月3日 ～ 12月9日 (5日間)</p>	<p>○自分で設定しためあてを意識しながら給食を食べる。</p> <p>○その日の給食についてカードに色を塗る。</p>	<p>○毎日、カードを集めて実態を把握し、意欲をもたせることが出来るように、シールを貼る。</p> <p>☆めあてを意識して、自分なりに実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>帰りの会 12月10日</p>	<p>○給食カードを振り返り、感想を記入する。</p> <p>○家に持ち帰り、コメントをもらってくる。</p>	<p>○めあてを意識して給食を食べたことや、それを振り返った感想を書くことで、食事の時に、何でも食べようとする意欲をもたせる。</p> <p>☆自分の実践について振り返り、今後に生かそうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

(4) 板書計画

いろいろたべて、げんきにせいちょうしよう



1ねんせいのからだのほうがおおきいのは、なぜかな？

- ・たくさんねたから。
- ・いろんなものをたべてきたから。
- ・じかんがたつとおおきくなるから。

さかな・にく
ぎゅうにゅう

やさい

ぼん・ごはん

今日の給食の写真

これから、しょくじをするときにどんなことをきをつけてたべるとよいか？

- ・にがななものも、ひとくちはたべる。
- ・ぜんぶのおさらにてをつける。
- ・のこさないでたべる。
- ・はなをつまんで、あじをごまかす。
- ・ぜんぶたべる。

6. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料 (資料①)

すききらいアンケート

- あなたは、にがてなたべものがありますか？ (はい ・ いいえ)
- 「はい」とこたえた ひとに、ききます。
にがてなたべものが、でたときに どうやって、たべていますか。

にがてなたべもの	どうやって、たべていますか。
<input type="checkbox"/> はい ピーマン	ほかのたべものと いっしょに たべている。

きゅうしょくどれだけたべたかな？

なまえ ()

● たべたら ○に いろをぬりましょう。

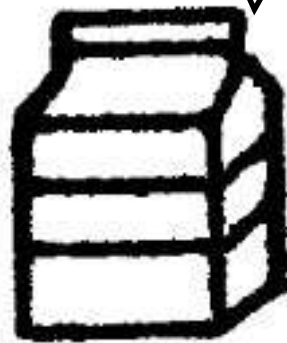
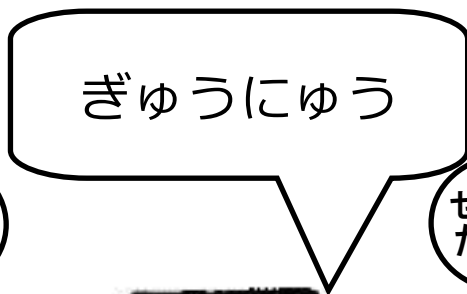


コーンソテー

ぜんぶ
たべた

はんぶん
たべた

ひとくち
たべた

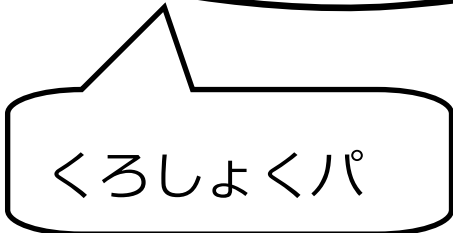
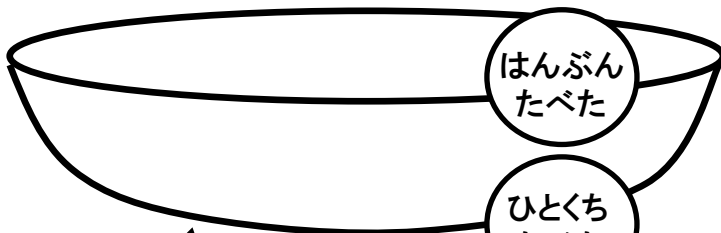


ぜんぶ
たべた

はんぶん
たべた

ひとくち
たべた

ぜんぶ
たべた



はんぶん
たべた

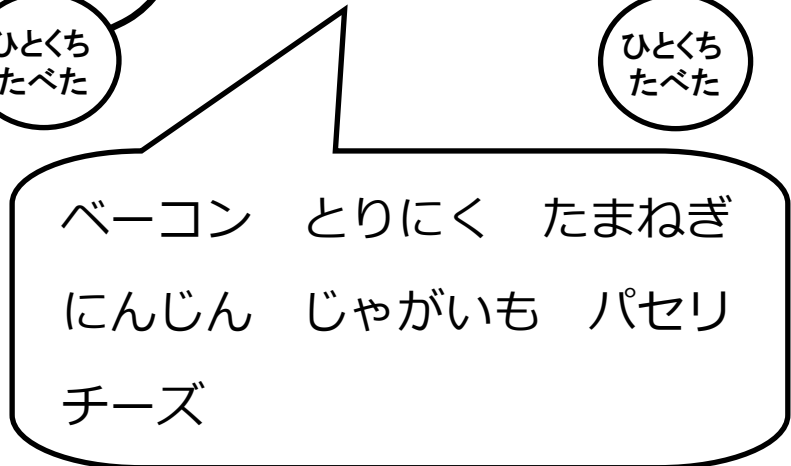
ひとくち
たべた

ぜんぶ
たべた

はんぶん
たべた

ひとくち
たべた

ポテトグラタン



(3) 実践への意欲づけのための資料 (資料③)

いろいろたべてげんきにせいちょうしよう!

くみ なまえ ()

めあて

ぜんぶ

はんぶん

ひとくち

たべたぶんだけ
〇にいろを
ぬりましょう。



がつ にち ()

ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		〇
ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
〇		ひとくち

がつ にち ()

ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		〇
ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち

がつ にち ()

ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち
ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち

がつ にち ()

ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち
ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち

がつ にち ()

ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち
ぜんぶ		ぜんぶ
はんぶん		はんぶん
ひとくち		ひとくち

ふいかえり

☺ おうちのひとからのコメント

☺ せんせいからのコメント